

試合終了後

ピクトリーショーやヒーローインタビューが終わり選手たちが引き上げた後は、熱戦の名残だけを感じ、少し寂しい雰囲気が漂います。

外野フェンスの一部となっている扉が開き、「スイーパー」という掃除機の機能が付いた車が2台登場。人工芝の上を動き回り、散らばった土や人工芝の破片を吸い取ります（図①）。

②手押し電動掃除機



アンツーカー（土）周囲の芝は手押し電動掃除機で丁寧に清掃（図②）。特にプレーでアンツーカーが荒れやすい一塁付近はハイパワーな業務用掃除機も使用します（図③）。ちなみに、スポンに縦縞模様が入っているのは試合中にバットやボールを片付けるボールボーイ。彼らも協力して行います。

①スイーパー



③よりハイパワーな業務用掃除機



④石灰の除去



⑤取り除いた石灰



⑥転圧作業

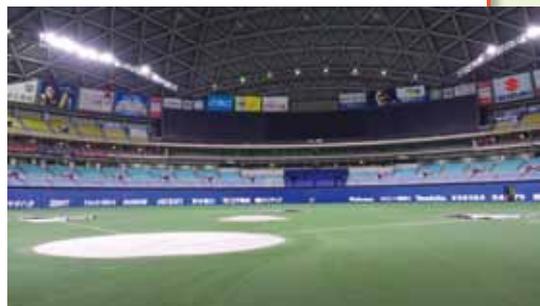


そして最後は散水です。散水も経験が必要な難しい作業で、ベテランのグラウンドキーパーが行っています。人工芝との境目はじょうろで、全体はホースでアンツーカーにムラなく適度に水分を与えます（図⑦）。特にベース周りは過剰に散水しないよう慎重に作業しているそうです。

乾燥防止に養生シートをかけたら完了です！（図⑧）

⑦散水

⑧養生シートで覆った状態



Dome

ドームだより



先月号に引き続き、グラウンドキーパーの仕事を紹介します。今回は仕事人たちの試合終了後の様子をどうぞ！

仕事人！グラウンドキーパー

後編



バッターボックスやマウンドのCDマークなど、白い石灰部分を取り除き、次の試合前にきれいにラインやマークを描ける状態にします（図④⑤）。バッターボックスやキャッチャーの位置など、選手の熱いプレーによりアンツーカーが荒れてしまった所には新しい粉粘土を足しながら、転圧機と呼ばれる機械を使って平らにならしていきます（図⑥）。まるでちょっとした工事作業のようです。非常に難しく、注意が必要な作業とのこと。マウンドや一・三塁ブルペンも同様に行います。

次にドームにお越しになった際には、グラウンドキーパーたちの仕事ぶりにも注目してみてください！